

誰でもメッシュ・ネットワークに参加可能

## +MESH

価格：1万4630円

サイズ：45×187×26mm 重量：60g  
連続使用時間：13時間 充電時間：約2時間

セナのBluetoothケース・インターコムを、50シリーズ、30Kなどのメッシュ・ネットワークに接続するためのアダプター。これを使えば、煩わしいペアリング操作から解放され、通話が切れても自動的に再接続するなど、より快適なインターコム通話を楽しめる。9つあるオープンメッシュのチャンネルも、専用アプリ「SENA +Mesh App」を使うことで自由に選択できる



この図の場合、20SをBluetoothケースで+Meshに接続。20Sと+Meshでひとつのメッシュ・インターコムという扱いでメッシュに参加できる



ハンドルから手を離さずに操作できる

## RC4リモコン

価格：1万6940円

サイズ：76.5×39.0×15.5mm 重量：28g  
対応機種：50S、50R、30K、20S EVO、20S、SRL、SRL2、10S、10U、10C、10C PRO、SF、5S

このリモコンを使えば、ハンドルから手を放すことなく、インターコムを操作できる。グローブをはめた手でも操作しやすい4ボタンのレイアウトを採用。ハンドルへの取り付けはシンプルなクリップ式となっており、さまざまなサイズのハンドルバーに取り付けられる。Bluetoothケース4.1以降のほとんどのセナ・インターコムに対応する



ワンランク上のサウンドにグレードUP!

## プレミアムHDスピーカー

価格：5500円

スピーカーサイズ：直径40mm  
対応機種：タイプA (50S、30K、20S EVO、20S)  
タイプB (10C PRO、5S)  
※50S、50R、5Sは標準搭載



50シリーズと5Sと同梱されているスピーカーの高音質を、ほかのセナ・インターコムでも楽しめるのが、交換用プレミアムHDスピーカーだ。伸びのある高音と豊かな低音を奏でるドライバユニットの採用。最新版のファームウェアにある「プレミアムHDスピーカー」の設定をオンすることで、その性能をフルに引き出してくれる。音にこだわる30K、20シリーズ、10C PROのユーザーにはオススメのアイテムだ

このほかセナのアクセサリには、ハイクオリティサウンドが楽しめる「プレミアムHDスピーカー」や、ライディングの安全性を高めてくれるハンドルバリアリコン「RC4」など、さまざまなアイテムが揃っている。豊富なラインナップの中から、自分の使い方にピッタリ合ったインターコムを見つけたら、さらにアクセサリを組み合わせて、自分だけのインターコムライフを楽しもう。

こうしたセナの独自のアクセサリのもうひとつの代表格が「+MESH」だ。セナ・インターコムの50シリーズと30Kでは、接続人数の制限がない「セナ・メッシュ」という通信技術を採用している。+MESHを使えば、このメッシュ・ネットワークにセナのBluetoothケース・インターコムで参加できるようになる。Bluetoothケースとメッシュのインターコムはお互いにグループ通話ができないのが常識であったが、+MESHひとつあれば、誰でもセナ・メッシュによるグループ通話に参加できる。

ソコンがなくてもファームウェアのアップデートができる。ついつい忘れがちなファームウェアのアップデートを、充電と同時に置いておくだけでできるというアイテムは、他に類を見ない。

これぞ名脇役!

# SENA Intercomの豊富なアクセサリ

求めやすい価格のベーシックモデルから、最新の技術を採用したフラッグシップモデルまでセナ・インターコムは、豊富なバリエーションでどんなユーザーのニーズにも応えることができる。そんな製品ラインナップはインターコム本体だけではなく、アクセサリも充実している「あると便利」なアクセサリを追加することで、インターコムライフはもっと楽しくなる!

文/八百山ゆーすけ 問:セナBluetoothケースジャパン <https://senablueooth.jp>



## 次のツーリングまでに自動でアップデート完了 WiFi ドッキングステーション

価格：8910円

サイズ：109×47×46mm 重量：54g 対応モデル：30K、20S EVO



30K、20S EVOを載せるだけで、充電とファームウェアのアップデートができるデバイス。WiFi環境さえあれば利用できるため、ファームウェアのアップデートのためにパソコンなどを用意する必要がない。WiFiに初めて接続する際には、スマホアプリ「SENA WiFi Accessories」で設定を行うが、一度設定すればインターコムを置くだけで充電とアップデートが自動的に行われる。インターコムのディスプレイスタンドとしても最適だ

NEW!



50シリーズにはWiFi Adaptorが同梱

50S、50Rの50シリーズには専用のWiFiケーブルを同梱。インターコムのUSB端子に挿して、反対側をACアダプターなどに接続するだけで、充電と同時にファームウェアのアップデートが自動的に行われる。こちらもWiFi環境さえあればパソコンなどを必要としないため、誰でもアップデートすることができる

そんなファームウェアの更新作業は、インターコムをUSBケーブルでパソコンに接続して、専用ソフトで行うのが一般的だが、最近パソコンを持たないユーザーも少なくない。このWiFiドッキングステーションを使えば、WiFiルーターなどを通じて、パ

一緒に走る仲間やパッセンジャーとの会話、スマートフォン音楽を聴いたり、ナビアプリの音声案内を聞くなど、インターコムはそれ一台でバイクに乗っている時間を、さまざまな機能で楽しませてくれる。そんなインターコムライフをもっとエンジョイさせてくれるのが、セナ・インターコムのアクセサリたちだ。

例えば30Kと20S EVOのために用意された「WiFiドッキングステーション」は、インターコムを使わないときに、そこに置いておくだけでバッテリーの充電と、ファームウェアのアップデートを自動的に行ってくれるという画期的なアイテム。インターコムの「OS」ともいえるファームウェアは、随時新しいバージョンが提供されていて、インターコム上のファームウェアを更新することで、新しい機能が追加される。

独自のアイテムが揃うセナのアクセサリ群